

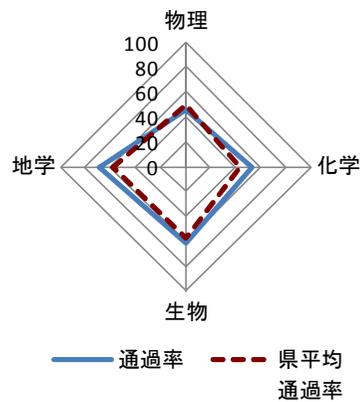
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 56.8%, 県 51.8%)

対県比 110%

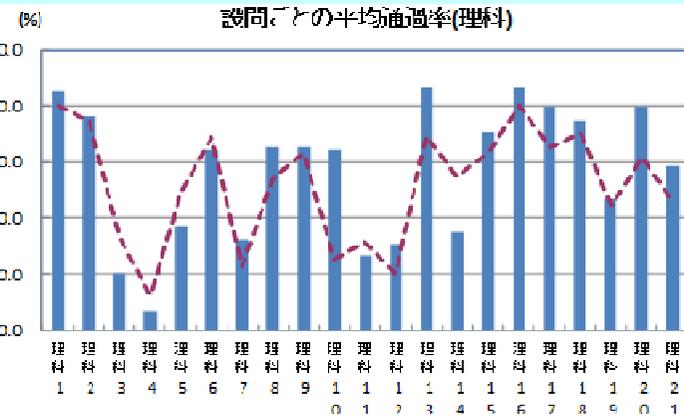
本年度の結果について

領域別平均通過率

領域別平均通過率(理科)



設問ごとの平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 68.4% 対全国比 107%
全国 64.0%

「基礎・基本」定着状況調査
 本校の通過率は県全体の通過率より 5 ポイント上まわった。これは、授業の中で、既習内容を復習したり、繰り返し確認させたりしている成果であると考ええる。
 しかし、領域別に見ると、物理分野において、本校は 45.1%と、県全体の通過率を 4.7 ポイント下まわっている。このことから、物理分野において課題があると考えられる。

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(力の表し方) (6.7 %)

力の矢印についての理解に課題がある。特に課題がみられたのが、力のはたらく作用点の位置について間違えている生徒が多い。このことから力を矢印であらわす際には、力の作用点を意識させて考えさせることが必要である。

【課題2】(実験結果を分析・解釈して、結論を導き出す) (26.7%)

表やグラフから実験結果を読み取ること、また、読み取ったことから何が言えるかを考察することに課題がみられた。このことから、実験結果からどのようなことがいえるかを考えさせることが必要である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (50%) 実施後数値 (%)

力の矢印の作図においては、まず、どのような力が物体にはたらいているのかを考えさせる。そして、何が何に力をはたらきかせているのか、どこからはたらいているのかを考えさせて作図をさせていく。

【課題2】目標値 (60%) 実施後数値 (%)

授業の中で、実験で得たデータから表やグラフを作成し、それを用いて考察を行うことが多いが、まだまだ不十分であることが分かった。そのため、生徒自身にグラフや表を用いて説明させる活動を授業で行っていく。また、探求的な学習を行い、実験からどのようなことが言えるかをじっくりと考えさせていく活動を行う。

※今後の改善計画については別紙